

平成23年度事務事業評価シート(平成22年度分)

予算科目	会計	一般会計	001	款	09	項	01	目	04
事務事業名	水害対策事業								
担当部署	総務部総合防災課	0113000	電話	0187-63-1111			内線	293	

◆事務事業の位置づけ

総合計画の体系	施策の柱	05:環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくり
	施策の大綱	06:生活の安全、安心確保
	施策	04:消防、防災の充実
	施策の内容	02:防災体制の充実、強化
根拠法令等	水防法	

◆計画Plan

事業の目的 (何のためにこの事業を行うのか)	河川の増水や内水氾濫による住家、農業等の被害を防ぐため。
事業の対象 (事業の対象となる人、物など)	市民、特に雄物川、玉川等の河川流域住民
事業の内容 (具体的にどのような活動をするのか)	① 集中豪雨等の洪水時の水防活動及び警戒パトロールの実施 ② 内水排水ポンプ場の電気料、ポンプ燃料等の経費執行 ③ 水防倉庫、資材の管理 ④ 水害応急費の執行
事業の成果 (どのような成果を期待するのか)	水害被害を最小限にとどめる。

◆実施Do

項目	名称	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度
活動結果 (事業の活動量を測る)	① 洪水への水防出動	回	1	3	4
	② 洪水への水防団員の出動人員	人	12	183	457
	③				
成果 (事業の成果を測る)	① 実際の水害対応出動人員数	人	25	244	757
	② 水害による被害額総額	千円	35,755	23,355	24,445
	③				
投入コスト	決算額		1,160千円	1,260千円	4,927千円
		一般財源	1,160千円	1,260千円	4,927千円
	人件費		6,922千円	7,047千円	7,132千円
		一般職員の年間従事人数	1.0人	1.0人	1.0人
		一般職員以外の年間従事人数			
	総コスト	(決算額+人件費)	8,082千円	8,307千円	12,059千円

事業を取り巻く環境	近年気象変動の影響で全国的にもゲリラ的大雨や集中豪雨が多発している。大仙市域でも毎年、農地冠水被害を含め小規模ではある。また、洪水ハザードマップ配布により、市民の関心は高まっている。
-----------	---

◆評価Check

評価項目		評価	
必要性	①【市民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	A 薄れていない B 薄れている	A
	②【市が実施する必要性】 市が実施主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	③【計画上の位置づけ】 施策を達成するための手段として妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	評価の理由	本市でもっとも現実的な災害であり、河川の増水や内水等から市民の生活を守るため必要である。 昨今の集中豪雨や短時間強雨の多発により、水害防止等について市民の関心が強まっている。	
有効性	①【成果】 活動結果に対し事業の成果は順調に上がっていますか	A 上がっている B 上がっていない	A
	②【活動内容見直しの余地】 事業の成果をさらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	A 余地はない B 余地はある	B
	評価の理由	「大仙市水防計画」、「丸子川排水班編制」を毎年見直し、災害時における水防活動等の事務従事に備えている。また、有事の際には水防活動及び管内パトロールを実施し、洪水・浸水被害を最小限におさえている。	
効率性	①【民間の活用】 指定管理者制度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	A できない B できる C 指定管理導入中	A
	②【他事業との統合・連携】 他の類似事業との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	A できない B 可能である	A
	③【人件費の圧縮】 適正な人員配置(従事職員数、臨時雇用等)により、人件費を削減できますか	A 削減できない B 削減できる	A
	④【コストの縮減】 上記以外の方法で、事業の成果を維持しながらコストの削減、またはコストを増加させずに事業の成果を上げることはできませんか	A できない B できる	B
	評価の理由	市民の避難行動のマニュアル化や自主防災組織の結成率向上促進などを地道に実行していくことで「コスト」をかけないで効果を上げていくことは可能である。	

◆改善Action

総合評価 (今後の方向性)	改善策	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)
改善	A 現状のまま継続	特に水門を閉めた後の内水氾濫による被害の軽減に力を入れたい。 水門管理人と排水班職員との連携を視野に入れ、それぞれの技能講習会も検討していきたい。 ・水門管理人(国・県・市)集中講習会の開催 ・排水班集合訓練、また、排水ポンプ実習訓練の実施
	B 改善しながら継続	
	C 拡大	
	D 縮小	
	E 廃止	
	F 終了	